

水色プライドⅡ



考えて判断する！正義を貫け！「当たり前」の進化・深化！

高砂中学校
第2学年通信
2017年
11月17日(金)
No.47
☎ 258-0038

「進路」って何だろう？

「進路って何ですか？」と聞かれたらみなさんは何と答えるでしょうか？「高校へ進学すること」と答える人が多いかもしれませんが、それでは狭い意味の「進路」です。「進路」には次のような3つの意味があると考えます。



1. 進学先や就職先の選択……中学校を卒業したら、どのような道を進んでいくのか。進んでいく道のを意味する。
2. 職業の選択……将来、何になるか。進んでいく方向や目指していく職業を意味する。
3. 生き方や価値観の選択……将来に向かって、どのような生き方をしていくのか。自分にとって何が大切かを考え、生き方を選ぶという意味。

上の1, 2, 3の順に「進路」の意味が広がっていくのがわかると思います。ですから、「中学校卒業後どうするか」を考えるだけではなく、将来の職業や自分の生き方まで考えながら進路を考えるのがベストなのです。しかし、そこまで無理ならば、せめて将来への見通しを持って、中学校卒業後の進路を選択する必要があると思います。高校に進学するとしても、高校に入学した後の学習や生活の仕方、及び高校を卒業した後の見通しなどをもって受験する高校を考えてほしいと思うのです。普通科に進学するのと、工業科や商業科、体育科などの専門的な学科に進学するのとでは、入学した後の勉強内容も異なり、卒業後の進路もある程度違ってくるわけですから……。

進路の選択は？

以上のような「進路」の意味からすると、進路の選択は中学校卒業後だけでなく、将来への見通しを持って決めなければならないことがわかります。進路選択の時に考えなければならないことは、次の3つです。

1. 将来への目標を持つこと……将来の夢、就きたい職業、そしてどんな生き方をしたいかなどについて自分なりにしっかりと目標を持つことです。
2. 自分をよく知ること……自分自身の特徴を知るのは難しいことですが、自分の能力をより発揮できる進路を選択するためには、とても重要なことです。自分自身を分析する観点としては、性格（長所や短所）、能力（学習や運動面での特徴、つまり得意な点や不得意な点）、趣味や特技、興味・関心のあるもの、身体の健康状況などです。自分だけで考えるのではなく、親、家族、先生、友人などから見た意見も大切にすることです。今の自分の姿をよく見つめ、得意なところやよい面を伸ばせるような進路を選ぶのが一番よいと思います。
3. 上級学校や職業についてよく知ること……これらを知らないと、狭い範囲の中からはしか進路を選択することができなくなります。できるだけいろいろな情報を集め、その中から自分によりふさわしい進路を選択する必要があります。その際、学校での進路学習を参考にしたり、保護者に聞いたり、ニュースや新聞から情報を得たり、インターネットで調べたりすることもできると思います。職場体験学習のまとめが始まった今、自分自身の進路についてぜひご家庭でも真剣に考えてほし

いと思います。

進路は自分の努力で切り拓く！

次の文は、新聞の投書欄に載っていたものです。



若い大工に感じた親心

家を建てることになって、職人さんと接する機会に恵まれた。大工は体格のよい26才の好青年である。一日中、1人で汗を流して働いている。私がたずねると、礼儀も正しく快く相手になってくれる。言葉遣いも今時の若者のような変な語尾の抑揚もなく心地よい。

「自分は中学を卒業してすぐ大工見習いになり、苦しい5年間の修行を乗り越えて、今は大工の仕事に誇りを持っている。郷里の母親に自分で45坪の家を建てて住まわしている。勉強は嫌いだったが、運動選手だった。3才からプラモデルが好きだったので、宮大工だった父親の血筋と思う。母親は一度も高校に行けとはいわなかった。高校へ行った友人が遊んでいるとき、働いているのが辛かったが、5年辛抱して乗り越えた。」と話してくれた。プラモデル好きな子供が成長して、いま家という大プラモデルを組み立てているのだから、仕事と趣味が一体の一番すばらしい人生を歩んでいる青年である。大学を卒業して独身の私の息子より若いので、一人暮らしかと聞いたら、1歳5ヶ月の子持ちとは驚いた。予想はしていたが、収入を聞くと大会社の課長級である。人並みにせめて高校くらいは卒業させたい、皆大学へ行く時代だから大学まで行かせたい、とエスカレートする親心が経済的にも可能な社会となった。そのときから、子供の伸びる芽を見失う。彼の母親は、世の風潮に流されなかったもので、息子は10年かけて磨いた技術という宝を持つことができた。それは、一生磨きをかけるのに値する職人さんのすばらしい世界だ。

(東京都、主婦「朝日新聞」より)

高校進学をしなくて10年かけて腕を磨き、一流の大工さんになった話です。この大工さんは、自分の特技を生かしながらも、努力を重ねて立派に成長したのです。「高校を出ないで…」とばかりにすることなかれ。むしろ、今の世の中、高校や大学へ行って「遊んでばかりいる人」に比べたら何倍も苦労を重ねているのです。中学校卒業後、高校などへ進学するにしても、就職するにしても、自分できちんと目標を持ち、それを達成するために精一杯努力することが成功への道だと思います。特に、高校などへ進学する人は、「何のために高校へ行くのか」という目的をしっかりと持つことと、あくまで「高校へは勉強するために行くのだ」ということを忘れないでほしいと思います。

職場体験学習写真集



※第三者への公開・開示や不当な目的利用、複写および複製等はお断りします。